

こうした視点で区政を進めるべく

議員活動をしています。

老後の不安解消

- ・家族が介護で孤立する事態を防止するための、介護疲れ解消支援の充実
- ・要介護度が「要支援1・2」の方や認知症の方向けの支援の拡充
- ・年齢にかかわらず生きがいや自立のためにその人に合わせた地域活動や仕事ができる社会づくりなど

雇用不安の改善

- ・職場におけるハラスメントやワーキングプア、差別・人権侵害などに対する相談・支援先確保
- ・女性や障がい者などが働きやすい職場づくりに取り組む企業への支援

災害対策

- ・木造密集地の更なる解消と不燃化住宅への建て替え支援
- ・避難先となる全施設の電源・飲料水などの備蓄の確保・拡充

特別支援教育や障がい福祉についての取り組み

- ・勉強が苦手な児童への支援と、いじめ防止
- ・発達障がいのお子さんのための巡回指導の拡充や成人期に向けた支援
- ・障がい者が働き、活動できる場の開拓・支援
- ・慢性疾患(HIV/肝炎等)や難病の診療や支援の充実

生きにくさを抱えた人へのよりよい

- ・あらゆる暴力・人権侵害のない社会の実現



中野どらごん Vol.25



不安と孤立を見捨てない

石坂わたるの たつのご通信



http://ishizakawataru.jp/
@ishizakawataru 09wishizaka@mbr.nifty.com

編集・発行 共生中野 〒164-0014 中野区南台2-51-7-305 TEL&FAX.03-6304-8758
【中野区議会】〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1 TEL.03-3228-8885 (無所属控室)

2018・春号



2期目の任期も残りあと1年程となりました。浮足立つことなく、多様性のある中野を作るため、不安と孤立を見捨てない、誰にもよりそう中野にするため、皆さんと一緒に地道に着実に頑張っていきたいと思ひます。

1976年生まれ。養護学校教諭、区立第七中学校・第十中学校介助員、教育センター職員、専門学校非常勤講師(保育科・児童福祉科)などを経験し、2015年4月、中野区議会議員選挙にて再選(2期目)。精神保健福祉士、行政書士。

平成30年度(2018年度)予算が可決されました。

平成30年度はこうしたことが進みます。また、年度末にはこんなことがスタートしました。行政機関や他の議員、区民との連携をしつつ、議会における質問で指摘をしてきた課題が少しずつ進んでいます。



ユニバーサルデザイン推進条例が可決しました。(30年3月28日に可決)

▶石坂は平成23年の初当選以来、障がい者も高齢者も女性もLGBTも外国人も誰もが暮らしやすいコミュニティづくりを訴え続け、ユニバーサルデザインについて何度も議会での質問で取り上げてきました。条例が可決したことで枠組みができました。きちんと中身が伴うよう注視していきます。

ユニバーサルデザイン推進計画を策定します。(平成30年度中に策定)

▶石坂は平成28年11月28日の一般質問などで取り上げました。可決したユニバーサルデザイン推進条例が実効性と具体性を伴うよう30年度に策定されるユニバーサルデザイン推進計画に落ち度がないようにしっかり見守るとともに、足りないところは指摘をして改善を求めていきたいと思ひます。

住宅確保要配慮者の存在も視野に入れた住宅マスタープランの改定があります。(平成30年度中にプランの内容を検討予定)

▶平成29年9月22日中野区議会決算特別委員会にて総括質疑で取り上げました。高齢者、障がい者、外国人、LGBT等への住宅に関する支援が進みます。

災害時の乳幼児用の二次避難所への備蓄物資配備が行われます。(平成30年度中に実施)

▶平成29年9月26日決算特別委員会建設分科会にて質問をしました。29年度に進められた高齢者のための災害時二次避難所への備蓄物資の配備に加えて、30年度は乳幼児のための災害時二次避難所への備蓄物資の配備が進められます。障がい者のための災害時二次避難所は現段階ではまだ予定が立てられていないため、予算審議において実施に向けた検討を求めました。今後も引き続き配備を求めていきます。

重症心身障害児施設における医療的ケア実施の支援を拡充します。(平成30年度中に開始)

▶石坂は平成29年11月24日少子高齢化対策調査特別委員会にて質問として取り上げました。民間の重度心身障がい児の放課後デイ等に区の支援で看護師の配置を増やすための予算が確保されました。

通学支援事業の特別支援学校高等部・通学者までの拡大(平成30年度4月に開始)

▶石坂は平成25年9月24日決算特別委員会にて「障がい児の移動の支援に関する施策」について総括質疑で取り上げました。障害のある児童・生徒が学校や学童クラブに通う際に、保護者の疾病・就労、その他やむを得ない事情により、通学等の介助ができない場合に、区が支援するしくみです。これまでは、小・中学生を対象としていましたが、高校生まで拡大しました。

同性カップル等が同一世帯として住民登録ができるようになります。(平成30年3月1日から開始)

▶石坂は平成29年6月5日に一般質問で取り上げました。住民登録において従来同一世帯になることに制約があった人たちが、同一生計・同居であれば、「同居人」として、住民登録ができるようになりました。これによって、同性カップルの場合にも二人が1枚の同じ住民票に名を連ねることができるようになりました。(注・これまでも他の自治体ですでに同一世帯になっているカップルが転入する場合には同性カップルが同一世帯で住民登録できるケースが存在していました)

同性カップルのパートナーシップ登録制度の検討が進められています。(平成30年度早期に検討)

▶石坂は平成27年2月23日の一般質問や、平成30年3月2日予算総括質疑で取り上げました。自治体レベルの取組であるため、男女の婚姻や事実婚と異なり、可能なことは限られますが、自治体としてできる取組として、全国ですでに6自治体で行われています。詳細が固まり次第開始される見通しです。

指定管理者に対する評価の改善(平成30年度中に開始)

▶平成25年6月5日の一般質問で取り上げ、適正に事業が行われたかの検証などを求めました。労働環境を含む総合的な評価を実施し、区民向けのサービスの向上が図られます。

医療介護情報連携システムの構築・普及

▶平成23年6月24日の一般質問、平成27年2月27日の予算総括質疑、平成27年10月8日の厚生委員会での質問、平成28年3月2日予算総括質疑などで情報連携の課題や必要性を指摘してきました。ICTを活用し、個別ケースごとに専門職間の情報共有が行える新たなしくみが作られます。

メディアに掲載されました! **LGBTの現状と課題** 朝日新聞(2018/1/12) <http://www.asahi.com/area/tokyo/articles/MTW20180112131580001.html> LGBTに関してカミングアウトをしている他の自治体議員とともに、現状と課題について取材を受けました。私からは、LGBTにおける、貧困や心身の病気で困っている緊急性の高いケースへの対応の重要性などについて述べました。

お茶会のお知らせ 予約不要 途中入退場可 資料代100円
6月24日(日) 14:00~16:30
会場 石坂わたる事務所
住所 中野区本町6-27-12 豊国ビル603
▶東京メトロ丸の内線「新中野駅」徒歩8分
▶「中野駅」南口より京王バス【渋63渋谷駅行】か【宿45新宿駅西口行】杉山公園下車徒歩7分
▶「野方駅」南口より都営バス【W75新宿駅西口行】中野天神下車徒歩4分
▶「新宿駅・中野坂上駅」より都営バス【W7 王子駅前行】か【宿91新代田駅前行】中野天神下車徒歩2分

学習会のお知らせ
子どものいるLGBT家庭について 子どものいる女性カップルの話を伺う予定です。
5月12日(日) 13:30~16:00
東部区民活動センター洋室2(「共生中野」で予約)
(共生中野は石坂わたるの政務活動用個人会派です)
中野区中央2-18-21 (予約不要・途中入退場可・資料代100円)
▶JR「東中野駅」下車西口徒歩12分
▶東京メトロ丸の内線・都営大江戸線「中野坂上駅」下車徒歩5分
▶「中野駅」または「野方駅」より関東バス【宿05・新宿駅西口行】東中野二丁目下車徒歩3分
▶「中野駅」より京王バス【渋64渋谷駅行】宮下交差点下車徒歩3分
※中野駅から新宿駅や渋谷駅へのバスは複数系統あるため系統番号にご注意ください

中野区議会内では、無所属議員控え室にいます。ご相談・ご意見をうかがいますのでお電話・メールで在室確認の上、お気軽にどうぞ。また、3名以上の区民の方の集まりにも調整の上、うかがいます。
お話をうかがいます

★たつのご通信は年4回の発行をしています。今後の郵送を希望される方はEメール、FAX、電話(不在時は留守番電話をご利用ください)などにてお知らせいただけましたら幸いです。

TEL&FAX 03-6304-8758(事務所)
MAIL 09wishizaka@mbr.nifty.com

メールニュース配信! 議会質問の日程やイベント予定などを、メールで配信しています。
09wishizaka@mbr.nifty.com
たつのご通信は年に4回ほど発行予定です。ご希望の方には郵送いたします。 **通信を郵送します!**

ボランティア募集
中野区内でのたつのご通信の配布、郵送準備などをお手伝いしてください。配布はご自宅の近くだけでもかまいません。(50部程度から可能)

不安と孤立を見捨てない 石坂わたる

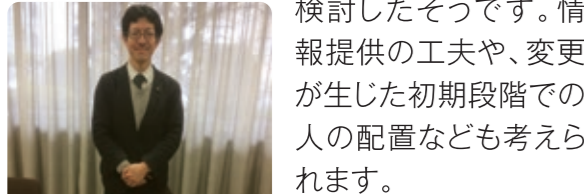
一般質問 (H30.2/22)
平成30年 第1回定例会 (2/16~3/28)

▶▶ 当事者参加でバリアフリーのチェックを行うべき

石坂 視察に行った豊中市では、図面や、模型、あるいは実際の現場で、障がい当事者が施設の利用のしやすさを確認する「バリアフリーチェックシステム」を導入しています。中野区でも更なる当事者参加を進めるために導入しては。

区長 今後も必要に応じて障がい者等の意見を反映させる機会を確保します。

石坂 中野区内各地のまちづくりにおいて、バス停や道路の動線の変更などが生じます。これまでも、(とりわけ中野駅周辺で)視覚障がい者や知的障がい者などが困った話を耳にします。豊中市では工事情報案内システムを



バリアフリーチェックシステムについて大阪府豊中市を視察

▶▶ 災害時のエレベーターの復旧対策を進めるべき

石坂 東日本大震災の際に停電ではなく、揺れが原因でエレベーターが停止し、復旧に数日を要した区有施設もあります。こうしたエレベーターの停止時に遠隔警報装置で不具合の情報が保全・管理会社に瞬時に伝わるものがあります。区施設のエレベーターも、順次こうしたものと入れ替えるべきではないですか？

区長 施設の利用実態を勘案しながら必要な箇所については設置を進めるよう検討します。

発達障がい支援について鳥取県倉吉市を視察

区内の精神障がい者施設するばるカンパニーのするばるまつりにて



▶▶ 生活困窮への予防や早期支援をすべき

石坂 生活困窮者やその前段階の人に関して、早期に発見し、経済問題だけでなく、社会的孤立や、社会サービスから断絶されて困っている人を含めてとらえる予防的な取り組みが必要ではないですか？

区長 身近な相談窓口としてすこやか福祉センターや社会福祉協議会などを周知するほか、児童委員や地域包括ケアシステムにおけるアウトリーチチームなどとの連携を行い、早期に相談につなげる取り組みを行っています。就労・住まい・心身の問題など全般について気軽に相談できる場として中野くらしサポートがあり、住宅確保給付金の支給や就職活動支援をしています。

石坂 生活困窮に陥った発達障がい者、同性愛者、トランスジェンダーなどの人が施設に入所をする際に、個室対応ができるようにすべきではないでしょうか。

区長 個室を利用できる施設を広く探し、入所ができるよう支援していますが、個室の空きがなくやむを得ず、本人の同意を得て相部屋となる場合も、空きが出れば個室に移れるよう配慮を施設に依頼しています。今後検討を進める居住支援協議会の設置をきっかけに、より総合的な居住支援対策の推進を図ります。

▶▶ 犯罪者の再犯防止の取組の強化が必要

石坂 再犯防止について行政が保護司等と協力すること、そのための役所側のコーディネートをする部署を明らかにすること、再犯を防止するために必要な社会的資源のネットワーク化を進めることが必要です。

区長 保護司との連携担当部署を定め、再犯防止の取り組みを進めます。再犯防止は就労や住宅等の生活支援、認知症や薬物依存等への保健福祉の支援事業、就学支援など多岐にわたるため全庁的な連携のほか民間や地域との連携体制を構築していく必要があると認識をしています。今後、区としての取り組みを定めます。

決算委員会総括質疑 (3/2)

▶▶ 正確な情報を広げる広報を強化すべき

石坂 予算の執行によって区民の利便性や住民向けサービスが向上することや、不便の解消について、期待を持つ人、関心を持つ人もいます。「大丈夫かな」と思ったり、不安に感じたりする人もいます。予算がこう決まりましたというだけではなく、随時、(委託なども含めた事業の)取り組みの様子や、工事によるビフォー・アフター、施設等が区民に使われている様子をSNSやホームページや区報などを用いて掲載したり、加えて、決算認定時にまとめて掲載したりしたほうがよいのではないですか？

区長 現在適切に行われていると認識していますが、区民生活への影響が大きいと思われるものについては、さらにきめ細やかな発信を行っていくことに努めたいと思います。

石坂 どんなによい事業であっても、行政がよかれと思ってやっている事業であっても、その受けとめ方は区民さままであり、区民にしっかりと報告し、区が行っていることについて正当な評価が得られるようにしていくことが必要です。

また不正確な情報が広がった際に、正確な情報を適時適切に流すことや、あらかじめわかりやすい形で可能な限りの情報を出すことが必要だと思います。

区長 区の施策を正しく区民の皆さんに理解していただくためにも、正確な情報を適時適切に、わかりやすい形で広報することは重要です。各所管部と連携を図りながら、効果的に進めます。



2月17日の学習会の様子

世界自閉症啓発デーイベントにて、ステージに登壇された想真さんと



▶▶ SOGIハラを許さない区役所庁舎内の職場環境づくりや啓発を促める

石坂 相手がLGBTであるかどうかに関わらず、職場で性的指向や性自認に対してハラスメントをすることは厳に慎むことが必要です。

区長 中野区の職員服務規程で「職員は、他の職員、それから職務に従事する際に接する職員以外の者これらを不快にさせる性的な言動を行ってはならない」とあります。LGBTやそうでない職員も含め、不快にさせる言動は禁止されています。

石坂 区の職員は、「SOGIハラがないのが当然」という雰囲気を区内全体に醸成していくように心がけることが必要だと思いますが、いかがでしょうか。

区長 全てのハラスメント防止のための基本方針を改めて策定する予定です。SOGIハラも含めましたハラスメント防止の取り組みをさらに推進してまいりたいと考えています。

補足説明 SOGIハラとは、相手がLGBT

であるかどうかにかかわらず、また、もし相手がLGBTである場合にそのことを自分が知っているかどうかにかかわらず、その人の性的指向や性自認に対するハラスメントを差します。例えば、相手がLGBTか否にかかわらず、「そんなじやホモやオカマと間違われるぞ」とからかうこと、特定の誰かに向けた発言でなくても「ゲイはみんなオネエで気持ち悪い」といった話題で盛り上がること、同僚の性的指向や性自認を他人にばらすことなどは中野区職員の服務規定に反する言動となります。また、常に相手がLGBTである可能性や、同性のパートナーがいる可能性も視野に入れて対応することが求められます。なお、中野区職員は新人職員研修と係長6年目研修でLGBTの人権に関する内容を含む研修を受講しています。

▶▶ ユニバーサルデザインにおける配慮を要する親子の支援

石坂 小学校とも連携をしながら障がいのある幼児への各幼稚園や保育園での統一的な合理的配慮のあり方について、検討し、実践をしてはどうですか。

区長 小学校への接続を見据え、情報共有をしていきます。

石坂 日本語支援を要する母子の相談場所や居場所を拡充してはどうですか。

区長 身近な場の対応を進めます。

石坂 区内で幼児期の子を持つ女性同士の同性カップルの状況を把握していますか。

区長 お悩みも含めて把握し、相談等にに応じています。



総括質疑

▶▶ 同性パートナー証明などへの取組

石坂 区長が同性パートナーシップ証明の実施について議会で前向きな判断を示したことについて大きな一歩です。しかし、パートナーシップ制度はゴールではありません。自治体のパートナーシップ制度で可能なことは、民法に基づく男女の婚姻と比べると、解決できる不便や困難の範囲はかなり限定的です。パートナーシップ制度スタート後も、区でできる取り組みを着実に進めていくことが必要です。

区長 同性パートナーシップにかかる公的な証書等の発行について検討を行っています。区が提供するサービスについても、誰もが平等かつ円滑に利用できるよう、必要な見直しや改善に向けた検討を行い、個性や多様性が理解・尊重され、さまざまな人が支え合うことができるように、理解促進を図っていきたくと考えています。

石坂 パートナーシップ登録をする同性カップルはもちろん、単身のLGBTやカミングアウトできない同性カップルへの取組みも進めますか。

区長 行政サービスの改善や理解促進などに取り組みます。



さくら館まつりにて



滋賀県で行われたアメニティ

フォーラムにて

建設委員会 (1/24, 3/14, 15, 19)

●「外国人が増えることについて、不安だ」という区民の声に対して、相互理解を促す情報発信や、交流を行うよう求めました。グローバル戦略推進担当より、「外国文化、異文化の理解促進に積極的に取り組みたい」との回答がありました。

●旧桃丘小学校校舎の解体工事について質問。担当より「アスベストについて、飛散性については軽いレベル3のものについても外に面している部分についてはより飛散性が高いレベル1に準ずる対応をする」との回答がありました。

●中野サンプラザの後継の民間複合施設について、全体会と分科会の実施を一体的に行う学会等への対応を要望しました。

補足説明 日本エイズ学会の学術集会・総会が区内で開催された際に、

会場が中野サンプラザとセントラルパーク内のコングレススクエアに分かれてしまったことや、サンプラザの施設が学会の分科会の対応に難航したことを踏まえて指摘しました。

●防災まちづくりにおける住宅のさらなる不燃化促進を求めました。

●中野駅周辺の駐輪場の廃止と新設について、タイミングの問題で利用者があふれないように求めました。



コロナもみじやま支援センター説明・内覧会

少子高齢化対策調査特別委員会 (1/16, 3/20)

●すこやか福祉センターを現在の4か所から8か所に増やす(全館に委託による地域包括支援センターと障害者相談支援事業所を併設する)考え方が示されました。石坂は、地域包括支援センターが担う介護と比べて障害者相談支援事業所が担う障がい福祉は採算が取れにくいと、8つに増やすことで相談支援事業所の受託事業者が経営や運営上の困難に陥ることがないように配慮を求めました。また、すこやか福祉センターにおける地域を担う人材をしっかりと確保することを求めました。

●65歳に向けた啓発パンフレットと連動するホームページの作成について、高齢者に分かりやすく使いやすい工夫を求めました。

●「中野区子ども子育て支援事業計画中間の見直し(案)」について、中高生向けの取り組みの記載が乏しいことを指摘し、中高生向けの取り組みを全庁的にまとめて見える化をしていくことを求めました。

1月19日	東京若手議員の会研修会
1月20日	セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク学習会
1月21日	東京土建中野支部南台分会新春のついで
1月22日	中野区商店街連合会新年賀詞交歓会
1月23日	青少年育成南中野地区委員会新年懇親会
1月24日	障和会新年会 東京土建一般労働組合中野支部新春のついで、東京都行政書士会中野支部新年賀詞交歓会、立教大学社会福祉研究所公開セミナー講師
1月25日	障和会新年会 東京土建一般労働組合中野支部新春のついで、東京都行政書士会中野支部新年賀詞交歓会
1月26日	立教大学社会福祉研究所公開セミナー講師
1月27日	区内重度心身障がい児の放課後等デイサービスにおでんくらぶ視察
1月28日	シンポジウム「地域であなたにもできること、LGBTとともに暮らすためにハネリスト、自治体とLGBT連綿学習会」
1月30日	「コロナもみじやま支援センター(中野五丁目障害者多機能型通所施設説明・内覧会)」
1月31日	鳥取県倉吉市視察(発達障害支援体制について)
2月1日	大阪府豊中市視察(バリアフリーチェックシステムについて)
2月2日	クローバー(日本精神保健福祉士協会認定成年後見人ネットワーク)「東京都クローバー登録者の集まり」
2月3日	「中野の子ども中野のみならず子育てしつづ」地域をつなげる子育て支援」中野区少年野球連綿新年会
2月4日	なかのの輪「小学生×地域の「まちは歩き交流会」
2月9日	アメニティフォーラム
2月12日	akata TAG TOUR (P-V予防啓発イベント)
2月17日	東京府保健福祉協会「地域共生社会の実現に向けた司法ソーシャルワーク、再犯防止法が目指すもの」
2月17日	「多様性を目指す教員の会勉強会」
2月25日	つながる中野
2月26日	生涯学習サポーターの会に中野駅周辺まちづくりに関する解説役として参加
3月3日	すばるまつり(精神障がい者施設、さくら館まつり、Rebit 法人化4周年イベント)
3月10日	中野のみ保育園卒園式
3月11日	区立こども茶話会(発達障がい児の親の会)
3月15日	区立みさき幼稚園修了式
3月16日	区立南中野中学校卒業式
3月18日	中野ランニングフェスタ出場
3月22日	区立みなみ小学校卒業式
3月23日	区立第十中学校閉校式
4月1日	東京土建中野支部南台分会お花見
4月2日	World Autism Day 2018 イベント

石坂わたるの活動報告